



Polaris news

【北高ニュース NO.202106】

「JICA 中部訪問」 ヨルダンの障がい者支援 (2021.7.16)

国際理解コース 1 年生 25 名で JICAJ 中部を訪問しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最初に JICA 事業についての説明を聞いた後は、2 班に分かれて施設見学と講演を聞きました。施設見学では、1 階の体験ゾーンで SDGs について学んだだけでなく、屋上庭園も見せていただき、環境にやさしい建物であることも知ることができました。講演では青年海外協力隊の隊員としてヨルダンで障がい者支援の活動に携わった小倉大志さんの体験談を聞きました。ヨルダンについてはもちろん、海外での生活や海外で働くことの大変さや魅力などを知ることができました。



■生徒の感想より

- 国際協力は助けるだけでなく助けられるということも知りました。日本は助けることもしているし、災害が起こった時は貧しい国からの援助を受けたりして、世界はつながっているのだと思いました。
- JICA 協力隊の方の体験談を聞いて、国際協力の大切さを知りました。以前は国際的な支援を「上から下へ与えるもの」だと思っていましたが、「自身も相手も共に発展していく」ことだと知りました。
- JICA を訪問して、国と国のつながりの大切さを学びました。僕も1階のショップでフェアトレードのチョコを買ったので、少し世界のために役に立てたと思います。
- 展示物の中で気になったのは、10kg と 20kg のバケツです。実際に持ってみて 20kg の水を運ぶことは私にはきっとできないだろうと思いました。そして、毎日そんな重さの水を子どもたちが運んでいて学校に行けないという事実は早く改善するべきだと思いました。